

第3回MLFシンポジウム 企業展示

2012.1.19~20

J-PARCセンター(JAEA&KEK)と(独)高エネルギー加速器研究機構・物質構造科学研究所が主催し、茨城県などが共催する第3回MLF(物質・生命科学実験施設)シンポジウムが、1月19日(木)・20日(金)の両日、いばらき量子ビーム研究センター(IQBRC)で開催されました。本シンポジウムでは両日でMLFに関わる約25件の研究成果発表の他、ポスターセッションも同時開催され、約150名の研究者や技術者が集いました。

この開催に際して、当協議会では発表会場に隣接した研究交流プラザの交流コーナーを利用し、14社の会員企業が得意技術や特長ある代表製品を出展PRしました。展示ブースに訪問戴いた研究者や技術者は、各社の展示品に興味深そうに覗き込み活発な質疑が飛び交っていました。出展した企業担当者からは、「普段、なかなか、お付き合いの機会を持つことが難しい研究者や技術者との交流ができて良かった」、「ご意見などから研究ニーズにどう対応していくべきか、大変勉強になった」、「お互いがお互いをより深く知り合うためにも、継続的な開催を期待したい」などの意欲的なコメントを戴きました。

この展示会が、MLF関連の研究者や技術者と地域企業の貴重な出会いの機会となり、参加企業との更なる交流の新たな出発点となることが望めます。



J-PARC利活用に向けて

Z-Rietveld 勉強会開催

2012.1.12

1月12日(木)、IQBRCにて当協議会主催で「Z-Rietveld」勉強会を開催しました。これは、J-PARCでリートベルト解析用に開発したソフトウェアのWindows版の配布が昨年11月から始まったことに伴い実施したものです。

今回の勉強会では、冒頭、高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所教授 兼J-PARC・BL08装置責任者/神山氏から中性子と結晶学の基礎、及びJ-PARCと粉末回折装置について解説戴きました。午後からは「実習『Z-Rietveldを用いた解析』一緒にやってみよう」とのテーマで、茨城大学フロンティア応用原子科学研究センター教授 兼J-PARC・BL20装置責任者/石垣氏から、Z-Rietveldの説明とインストール、標準試料の解析や同ソフトウェアの基本的な使い方についてご指導いただきました。参加者は各自が持参したパソコンを使って基本的な事例の解析実習を行ったことにより、一層高い即戦力を育むことができ、今後の実務展開が期待されます。



協議会成果報告会を開催します

下記により、県内中性子利用連絡協議会平成23年度成果報告会を開催致します。奮って、ご参加ください。

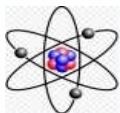
尚、今回の開催は、いばらき成長産業振興協議会健康・医療機器研究会との共同開催となります。

【お知らせ】 ■■■ 開催概要 ■■■

- 日時 平成24年2月21日(火) 13:30~17:00
- 場所 いばらき量子ビーム研究センター・2F/多目的ホール (那珂郡東海村白方162-1)

●予定次第

1. 中性子を利用した製品開発事例の紹介
 2. 平成23年度協議会活動報告
 3. J-PARCビームラインの現況と今後の整備計画
 4. 茨城県中性子ビームラインの産業利用状況について
 5. J-PARC見学会 (JAEAのバスで移動予定)
- (他に、「中性子捕捉療法(BNCT)の確立に向けた先進的医療機器の研究開発」と題した講演を予定しています)



***** J-PARC NEWS 発行 *****

J-PARC NEWS 第82号が発行されました。

URL: <http://j-parc.jp/ja/news.html>